

麻郷小学校 特別支援教育だより



R6.2.15



よりよいサポートのために！

将来の社会生活を見据えれば、意思表示を行うスキルは必要不可欠です。意思表示をして他者から理解され、受け入れられるようになることは、お子さんにとって、大きなメリットといえます。

伝える力を育てるためにも、大人が結論付けたり、話をさえぎったりせず、本人の思いを丁寧に引き出したいものです。

ケース7 意思表示が苦手



引っ込み思案、控えめな性格と思われ、集団生活での問題にはなりにくいですが、どのように人と関わるとよいのか分からず、人の言いなりになったり、集団から孤立したりすることがあります。

① 質問を理解しているか確認する。



質問の意味や意図が分からずに反応できない場合、詳しく説明してあげましょう。

② 選択肢を示して選ばせる。

分かりやすい選択肢から、「どっちがいい？」と聞き、好きな方を選ぶことで意思表示させます。



③ 消去法で聞く。

自分の好きなものを選べないときは、「いやなのはどれ？」と消去して、意思表示をサポートします。

④ 無理強いしない配慮も必要。

「自分の意思が分からない」、「意思表示したくない」、「決めたくない」というケースもあります。本人の気持ちを推し量りましょう。



⑤ 伝え方を具体的に教える。

本人の言いたいことを切り出せない様子を見取り、「一緒に遊ぼうって言うてみたら」などと、具体的な言い方をアドバイスしましょう。

⑥ 対応の仕方を教える。

嫌な思いをしても言葉や態度で表現できない場合、「いやだ」「やめて」などと言うことやヘルプの出し方の練習も必要です。

* 次回は、【ケース8 自己肯定感が低い】について考えます。